

1-2 農耕社会の成立

<小国の分立／邪馬台国連合>

史料1

夫れ ① 海中
に倭人有り、分れて百余国と
なる。歳時を以て来り献見す
と云う。

史料2

建武中元二年 ② 年、
倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。使
人自ら大夫と称す。倭国の極南海
なり。光武、賜ふに印綬を以てす。
安帝の永初元年、倭の国王帥升
等、③ 百六十人
を献じ、請見を願ふ。桓霊の間、
倭国大いに乱れ、更相攻伐して歴
年主なし。

史料3

倭人は ④ の東南大海の中に
在り、山島によりて国邑を為す。旧百余国、漢
の時朝見する者あり。今使訳通ずる所三十国。
郡より倭に至るには、海岸に循ひて水行し……
邪馬臺国に至る。女王の都する所なり。……男子
は大小と無く。皆黥面文身す。……祖賦を収むに
邸閣有り。国々に市有り。有無を交易し、大倭
をして之を監せしむ。女王国より以北には、特
に一大率を置き、諸国を檢察せしむ。諸国之を
畏憚す。……下戸、大人と道路に相逢へば、逡巡
して草に入り、辞を伝へ事を説くには、或は蹲
り或は跪き、両手は地に拠り之が恭敬を為
す。……其の国、本亦男子を以て王と為す。住ま
ること七、八十年。倭国乱れ、相攻伐して年を
歴たり。乃ち共に一女子を立てて王と為す。名
を ⑤ と曰ふ。⑥
を事とし、能く衆を惑はす。年已に長大なるも、
夫婿なし。男弟有り、佐けて国を治む。……景初
二年六月、倭の女王、大夫難升米等を遣はし郡
に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。……
その年十二月、詔書して倭の女王に報じて曰く
「……今汝を以て ⑦ と為
し、金印紫綬を仮し、封装して帯方の太守に付
し、仮授せしむ。……」と。……卑弥呼以て死す。
大いに塚を作る。径百余歩、徇葬する者、奴婢
百余人。更に男王を立てしも、國中服せず、更々
相誅殺し、当時千余人を殺す。復た卑弥呼の宗
女 ⑧ の年十三なるを立てて王
と為す。國中遂に定まる。

○要点（史料を見て、まとめてみよう！）

史料1 Q1：倭国はいくつに分かれていましたか？

A1：_____

史料2 Q2：建武中元二年には、倭の中のどの国が中国を訪ねたか？また、誰を訪ねたか？

A2：国 _____ 人物：_____

Q3：印には、どのような刻印がされていましたか？

A3：_____

史料3 Q4：邪馬台国において、男性の王になるとどのようなことが起きているか？

A4：_____